



# 組織変更支援オプション 利用マニュアル

株式会社ミトリ

Copyright(C) mitori All Rights Reserved.

## 内容

1. 組織変更支援オプションの概要 .....	3
2. 「現在の組織とユーザー」と「準備中の組織とユーザー」.....	3
3. 組織変更の適用 .....	4
4. 組織変更の実行履歴について .....	5
5. 組織変更の際の便利な機能 .....	5
組織情報のアップロード・ダウンロード.....	5
6. 組織変更のフォーマットへの影響を確認する.....	6
7. 組織変更の承認ルートへの影響を確認する.....	7
8. 申請途中の申請書を一括操作で差し戻しする.....	7
9. お知らせ機能でユーザーに事前告知する.....	8

## 1. 組織変更支援オプションの概要

組織変更支援オプションを利用することで、期末日などの特定の短期間に本番環境を直接変更するのではなく、準備用の環境で**新組織情報を事前に設定しておく**ことができます。  
また、組織変更の適用タイミングで準備用の環境から簡単な操作で本番へ適用することができます。  
組織変更支援オプションのご利用にはお申込みが必要です。

## 2. 「現在の組織とユーザー」と「準備中の組織とユーザー」

組織変更支援オプションでは、「組織とユーザー」の編集画面が2つ存在します。

1つは現在稼働中のもので承認ルートやフォーマットから参照されている「**現在の組織とユーザー**」です。  
「**現在の組織とユーザー**」を変更した場合、即時に申請中の申請書や承認者選択画面などに影響します。

もう一つは、将来の組織変更を事前に行っておく「**準備中の組織とユーザー**」です。  
「**準備中の組織とユーザー**」を変更しても適用しない限り、申請書などユーザー操作に影響することはありません。

「**現在の組織とユーザー**」と「**準備中の組織とユーザー**」は管理者メニューの「組織とユーザー」画面の以下のボタンで切り替えることができます。

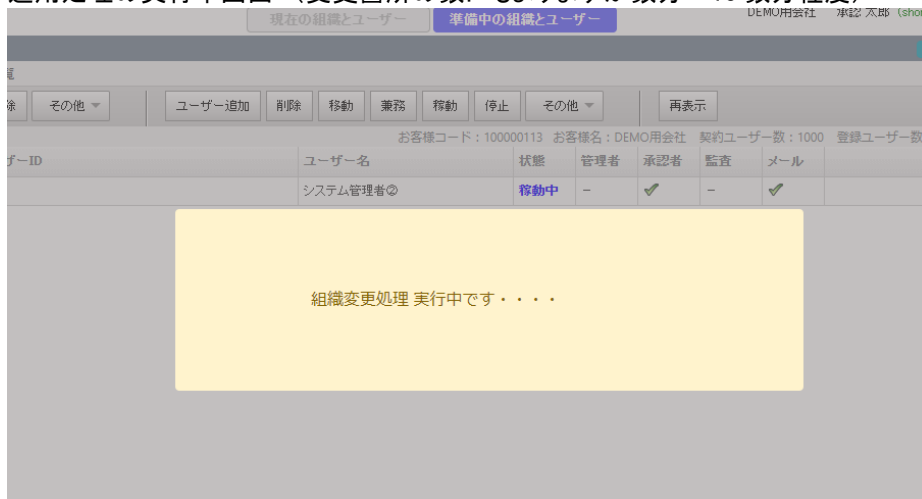


### 3. 組織変更の適用

「準備中の組織とユーザー」で準備した内容は「組織変更の適用」ボタンを押下することで、「現在の組織とユーザー」に反映されます。



適用処理の実行中画面（変更箇所の数にもよりますが数分～10数分程度）



正常終了すると以下のメッセージが表示されます。



## 4. 組織変更の実行履歴について

組織変更の過去の適用履歴は「版数一覧」で確認することができます。



版数一覧画面（最新 10 件まで保存）

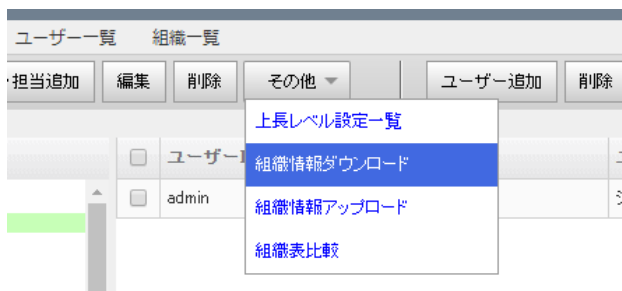


それぞれの版数(数字)をクリックすることで、適用当時の「組織とユーザー」の設定内容を確認することができます。また、それらの過去に適用済みの版数を「準備用の組織とユーザー」に反映し、再編集することもできます。

## 5. 組織変更の際の便利な機能

### 組織情報のアップロード・ダウンロード

組織変更支援オプションを利用すると、組織情報のアップロード、ダウンロードができるようになります。それぞれタブ区切りのデータでアップロード、ダウンロードします。



※組織情報アップロードの際は組織コードをキーに上書き処理を行います。既存の組織コードが存在しない場合、新規で登録されます。

## 6. 組織変更のフォーマットへの影響を確認する。

例えば第一営業部、第二営業部という2つ組織が合併、第一営業部を存続させて第二営業部を合流、第二営業部を削除するようなケースでは使用可能組織や公開設定に第二営業部が設定されている箇所は検知して第一営業部を設定したいと思います。

このような場合は、フォーマットの基本設定(歯車)の「組織とユーザー」で準備中を参照に切り替えることで組織変更を適用したらどうなるのかを知ることができます。

組織とユーザー

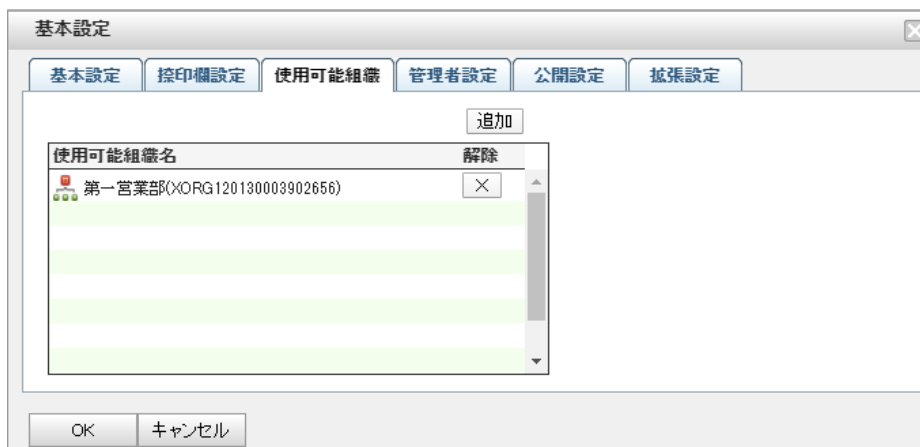
現在を参照

準備中を参照

上記のようなケースの場合、「準備中の組織とユーザー」で第二営業部を削除していると、使用可能組織など第二営業部が設定されている箇所は「10000XXXX-00000(削除済)」のように表示されます。これは「現在の組織とユーザー」に存在している組織が「準備中の組織とユーザー」に存在しない場合に発生します。



意図しない使用可能組織や公開設定にならないように、事前に設定しておくことをお勧めします。



## 7. 組織変更の承認ルートへの影響を確認する。

例えば経理部と総務部という2つ組織が合併、経理部を存続させて、名前を経理総務部に変更、総務部メンバーを合流、総務部を削除するようなケースにおいて、例えばルート上に総務部長が設定されている箇所は検知して総務経理部部長を設定したいと思います。

このような場合は、承認ルートの基本設定(歯車)の「組織とユーザー」で準備中を参照に切り替えることで組織変更を適用したらどうなるのかを知ることができます。

組織とユーザー

現在を参照

準備中を参照

上記のようなケースの場合、「準備中の組織とユーザー」で総務部長を削除していると、承認ステップに総務部長が設定されている箇所は「10000XXXX-00000(削除済)」のように表示されます。これは「現在の組織とユーザー」に存在している役職が「準備中の組織とユーザー」に存在しない場合に発生します。

  
総務部長

(100000113-00045(削除済))

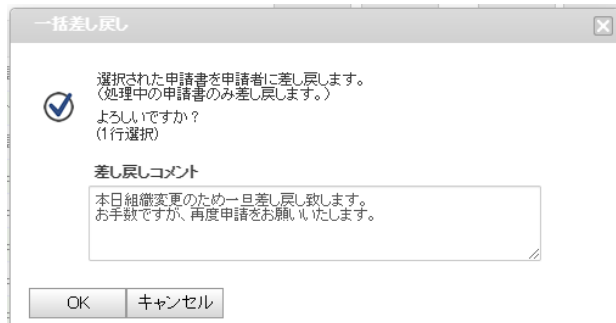
意図しないステップ設定にならないように、上記のような場合にはあらかじめ新しい承認者を設定しておくことをお勧めします。

## 8. 申請途中の申請書を一括操作で差し戻しする。

組織変更支援オプションをご利用のお客様は途中の申請書を「申請者に差し戻し」することができます。これは申請済みの申請書が組織変更後に旧組織編製の承認フローを防ぐために利用します。



差し戻しの際には以下のように差し戻しコメントを付与して差し戻すことができます。申請者はコメントを申請書の履歴欄で確認できます。対象の申請書は全て申請者に差し戻され、状態は「下書き」となります。



## 9. お知らせ機能でユーザーに事前告知する。

組織変更の際に「ユーザーログインの停止」や「途中の申請書を申請者に差し戻す」ような場合はお知らせ機能を利用して事前にユーザーに告知しておく便利です。

お知らせの設定は以下で設定することができます。  
各種設定・管理>その他の設定>お知らせの設定

The screenshot shows the Streamline application interface. At the top left is the Streamline logo with the tagline "the workflow engine". To the right, a notification banner is highlighted with a red box, displaying "お知らせ 2020/01/15 3月末組織変更に関するおしらせ。". Below the logo is a "新規作成" (New Creation) button. The main area contains a search bar with "フォーマット: (全て)" and "状況: (全て)" dropdown menus, and a "検索" (Search) button. Below the search bar is a table with columns for "申請書番号" (Application Number), "フォーマット" (Format), and "申請者" (Applicant). Below the table is a modal window titled "お知らせ" (Notification) with a close button (X). The modal content includes the date "2020/03/11" and the title "2020年3月末組織変更に関するおしらせ。". The main text of the notification reads: "以下の日程でStreamlineの組織変更を実施いたします。また、3月31日 16:00時点で「申請中」もしくは「承認中」の申請書については申請者に差し戻されますので、改めて申請をお願いいたします。【日時】 2020年3月31日 17:00～ 20:00頃を予定【備考】 組織変更実施中はシステムにログインできません。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。". At the bottom of the modal is a "閉じる" (Close) button.